

【医師の診断を受け、保護者が登園届を記入することが考えられる感染症】

病名	感染しやすい期間（※）	登園の目安
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること、 発熱が治まっている① こと、発疹がある場合は消滅してから
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい 咳が収まっている② こと
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	解熱し、口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐③、下痢④ 等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し⑤ 、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（一）としている。

- ①→発熱が治まっているとは、登園前 24 時間 38℃を超える発熱が無い。登園当日は体温 37.5℃以下で、活気があり機嫌もよいこと。
- ②→咳が治まっているとは、連続した咳がない、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅー）やつらそうな呼吸のないこと。
- ③→嘔吐が治まっているとは、登園前 24 時間嘔吐がない。また登園当日、食事がとれている、顔色が良いこと。
- ④→下痢が治まっているとは、登園前 24 時間水様下痢がなく、軟便が 1 日 1～2 回程度であるまた、腹痛がないこと。
- ⑤→呼吸症状が消失しているとは、連続した咳がない、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅー）やつらそうな呼吸もないこと。呼吸の数も多くなく楽な呼吸をしていること。